

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	農業集落排水施設整備事業	コード	担当課	下水道課 工務係
		01-01-10-05	担当者	岡村 悟
事業実施期間	平成13年度～平成17年度			
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり		
	中項目	生活しやすいまちづくり		
	小項目	下水道		
	施策	公共下水道計画区域外への対策		
		電話	0869-66-9702	

事業について	
目的	生活雑排水及びし尿の処理を行い、農業用水路及び公共水域の水質改善を図り、衛生的・快適な生活を送る。
対象(誰のために)	新庄地区 (600人・186戸)
内容	処理場 1箇所 管路施設 L=7,947m マンホールポンプ N=8箇所

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
管路整備	2,699 m		
整備戸数	82 戸		
委託設計	24 本		
地元説明会	8 回		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	330,665	国庫補助金等	187,985	直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	14,425	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	345,090	一般財源等	37,605	合計	0	一般財源等	0

必要人員	2.00	人		人
結果指標名	管路整備			
結果指標量	2,699			
単位	戸			
対前年比	—			
事業費	187,113,000	円		円
単当たりコスト①	69,000	円		円
結果指標名	整備戸数			
結果指標量	82			
単位	戸			
対前年比	—			
事業費	187,113,000	円		円
単当たりコスト②	2,281,000	円		円

事業の成果			
成果指標名	工事進捗率(排水設備の接続率)	式又は説明	工事進捗率(%)=実施延長/計画管路延長×100(平成17年度まで) 排水設備の接続率(%)=整備戸数/186戸×100(平成18年度以降) 計画放流水質 BOD=20mg/ℓ以下 COD=30mg/ℓ以下 T-N=10mg/ℓ以下 など
成果指標量	17年度		
対前年比	100		
到達目標値	進捗率100%以降、3年間での排水設備接続率100%	到達目標年度	平成20年

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等:
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input checked="" type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
	市民参画度	

総合評価	
コメント	平成17年で処理場、管路施設ともに予定どおり完成した。今後、平成20年までに排水設備接続率100%に向けて地元への広報活動等を行う必要がある。
評価区分	<A~E> D

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	-	結果指標量②	-
目標値	結果指標量		-

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	排水設備接続率100%に向け、地元へ広報活動等を行う。	H.18~	公共用水域の水質保全および維持管理費の減

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

管路計画外の新築家屋に対して、本事業に参入できるのか、合併浄化槽の補助金を出すのかを慎重に判断し決定する必要があります。

マンホールポンプについて、設置数を10から8へ予定通り減らすことができた。また、路面(アスファルト)復旧を関係機関と調整し施工したことで経費の削減が図れた。

施設整備は予定どおり完成した。平成18年度からは、地元へ排水設備の接続を広報等で促していく必要がある。